

富高節

黄地 勉教諭 詞
野口源次郎教諭 曲
多吾久子教諭 振付

野趣を帯びて

mf

(一) いしかわ ーづつ みの やなぎがめーぐー み
(二) ヒロイ ー ー プー ルモ アフレルミ ーズー ニ

ー とんこうの ー に ー わに ー はるがき ー て
ー シブキラ ー ア ー ゲテ ー トビコメ ー バ

mf *f*

ー しろいラインは めもあざやかに ー ちようも ー ー きてまう
ー シロクカガヤク ニュード ー グモガ ー オオキナ ー キボウヲ

じまんをいうのじや

ff *mf*

ユニフォーム ユニフォー ー ム アラ トーンコトンコー
ヨブ ヨウダ ヨブ ー ヨウ ー ダ

1. 石川堤の柳がめぐみ

富中の庭に春が来て
白いラインは目も鮮かに
蝶も来て舞うユニホーム

2. 広いプールもあふれる水に

しぶきをあげて飛びこめば
白く輝く入道雲が
大きな希望を呼ぶようだ

3. かたわれ月も早や傾いて

空を貫く天の川
友とかたろう夜はいつかふけ
秋のうれいが身にしみる

4. 金剛嵐にどんと胸叩きや

筋金入りの腕が鳴る
恥を知るのがおいらのほこり
肩で風切る心いき

5. 南河内は男のところ

富中健児の育ちどこ
自慢を言うのじゃ決してないが
粒よりぞろい千五百

■ 解説

もと「富中節」として生まれたものであるが、その後、高校が発足し、男女が共学するようになって、昭和23（1948）年、4節5節が改められた。

1. 石川堤の柳がめぐみ

富高の庭に春が来て
白いラインは目も鮮かに
蝶も来て舞うユニホーム

2. 広いプールもあふれる水に

しぶきをあげて飛びこめば
白く輝く入道雲が
大きな希望を呼ぶようだ

3. かたわれ月も早や傾いて

空を貫く天の川
友とかたろう夜はいつかふけ
秋のうれいが身にしみる

4. 雪をいただく金剛の峯

野末に遠い霜の朝
梅の枯枝にふくらむ蕾
春は近いと呼びかける

5. 山うるわしく水清らかに

三年の春はこころよく
送り迎える夢多き日よ
感激深き若き日よ

改作にあわせて、体育大会に、職員、生徒、卒業生が、一つの輪になって踊れるように、富高節に振りをつけてみようということになって、私はそれを引き受けた。作曲された野口先生から、「リズムを正しく、はっきり表現できて、この詞のところで拍手を二つ、ここでは拍手を一つすること」というように注文があったりして、仕上がるまでには少し苦

労もあった。それでも、簡単にリズムに乗って、楽しく踊れる動きがどうにかできあがり、体育大会にみんなで踊って、たいへん気分が盛り上がったのは、なつかしい思い出である。

その後ずっと、体育大会のプログラムには欠かせない演技種目として続いて来た。今でも、同窓会などで、富高節を踊ろうという声に、すぐさま、先輩、後輩が一つの輪になって踊っている。こうしたありさまを見るにつけ聞くにつけ、振りつけてよかったと思っている。

きっちり踊れない人もいるかと思って、振り付けを下に書いてみました。

■ 富高節振付け

① 隊形

円になる。全員右をむく。

② 石…

左手を前、右手を上にあげ、左足を前に一歩出して、体の重心を左足にかける。

③ 川…

右手を前、左手を上にあげ、右足を前に一歩出して、体の重心を左足にかける。

④ わ…（川のわーのひっぱる所）

拍手を一つして、足を揃える。

⑤ 堤の…

右足からその場で、ひとまわり、（右、左、右、左で足をそろえる。）手は自然にながす。

⑥ 柳がめ…

両手を肩の高さに横にひらいて上下に動かしながら、円の外へ二歩出る。（足は右足を右へ出して、左足を揃える。同じ事をもう一度する。）

⑦ ぐみー…

⑥と同じ動きを、円の内側にする。

⑧ 富…

右足を一步前に出し、その足に体の重心をのせ、両手は胸の前から頭の上で円をつくる。

⑨ 高の…

左足を左横へ、爪先をおき、左手の手のひらをかえして左横に出す。

⑩ 庭…

⑧と同じ動作を左足からする。

⑪ わに…

⑨と同じ動作を右足からする。

⑫ 春…

右足を左足に交差して、円の中心に体の向きを変える。

左足を後にはねて、両手を腹部あたりの前で交叉して開く。

⑬ がー来…

はねた左足を一步後へおくと同時に、右足を左足にそろえて、両手を上でななめに開く。

⑭ て…

“チョチョンの”という拍手を二つ。

⑮ エー…

“チョン”の拍手を一つしながら、両足をそろえたまま、円周にそって右向きになる。

⑯ 白い…

左手を前、右手を上にあげ、左足を前に一步出して、体の重心を左足にかける。

⑰ ラインの…

右手を前、左手を上にあげ、右足を前に一步出して、体の重心を左足にかける。

⑱ めも…

一つ拍手をして、足を揃える。

⑲ あざやか…

右足からその場でひとまわり。(右、左、右、左で、足をそろえる。)

手は自然にながす。

⑳ にい蝶も…

両手を肩の高さに横にひらいて、上下に動かしながら、円の外へ二歩出る。(右足を右へ出し、左足を揃える。同じ事をもう一度する。)

㉑ 来て舞う…

㉐と同じ動作を円の内側にする。

㉒ ユニ…

右足を一步前に出し、その足に体の重心をのせ、両手は胸の前から頭の上で円をつくる。

㉓ ホーム…

左足を左横へ、爪先をおき、左手の手のひらをかえして、左横に出す。

㉔ ユーニー…

㉒と同じ動作を左足より行う。

㉕ ホォー…

㉓の動きを右横へ、爪先をおき、右手の手のひらをかえして、右横に出す。

㉖ ムウー…アラ

⑫、⑬と同じ。

㉗ 富高…

“チョチョンの”という拍手を二つ。

㉘ 富高…

“チョン”の拍手を一つしながら、両足をそろえたまま、円周にそって右向きになる。

『アラ、富高、富高』がはやしのようになっている。また振り付けは、1番の歌詞で、同じ動きを2回くりかえすようになっている。

(多吾久子)